

3 スポーツの振興

将来のイメージ

- 地域住民が気楽に参加できるように、スポーツの場や機会が充実し、スポーツ施設の整備、指導者の育成が進められ、住民の健康増進、体力向上、スポーツの生活化が推進されています。そのため、誰もがそれぞれの体力や年齢、関心・技術に応じてスポーツ活動に親しんでいます。

現状と課題

- 社会環境や生活様式の変化の中で、近年子どもたちの体力は長期的に低下傾向にあります。
- 子どもを向上させるために、スポーツなどの運動から食生活、基本的な生活習慣の改善が必要であり、学校、家庭、地域社会などが相互に連携を図っていくことが求められています。
- 住民一人ひとりがそれぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現が望まれています。
- 年齢、競技特性等に応じたジュニア層の強化を通じて、本地域の競技力の向上を図るとともに、県民体育大会、国民体育大会等への選手派遣や各種スポーツ大会への支援を通じた競技スポーツの向上が求められています。

取組の方向性

(1) 生涯スポーツの推進

- 体力・運動能力調査を実施及び分析による体力の現状把握に努めます。
- 教科体育を充実するとともに「体力向上推進委員会」の計画実践による学校全体での取組を推進します。
- 「早寝・早起き・朝ご飯運動」を推進し、健康な食習慣の改善に努めます。
- 一校一運動、特色ある体力・気力づくりの継続実施を促進します。
- 健やかスポーツ100日運動^{※7.4}を普及・推進します。
- 生活水準の向上や余暇時間の増大、高齢化の一層の進展等に伴い、スポーツを通して健康で豊かに生きようとする期待に応えられるよう、地域のスポーツ活動、民間スポーツクラブ等の連携、環境整備への取組を支援します。

(2) 競技スポーツの向上

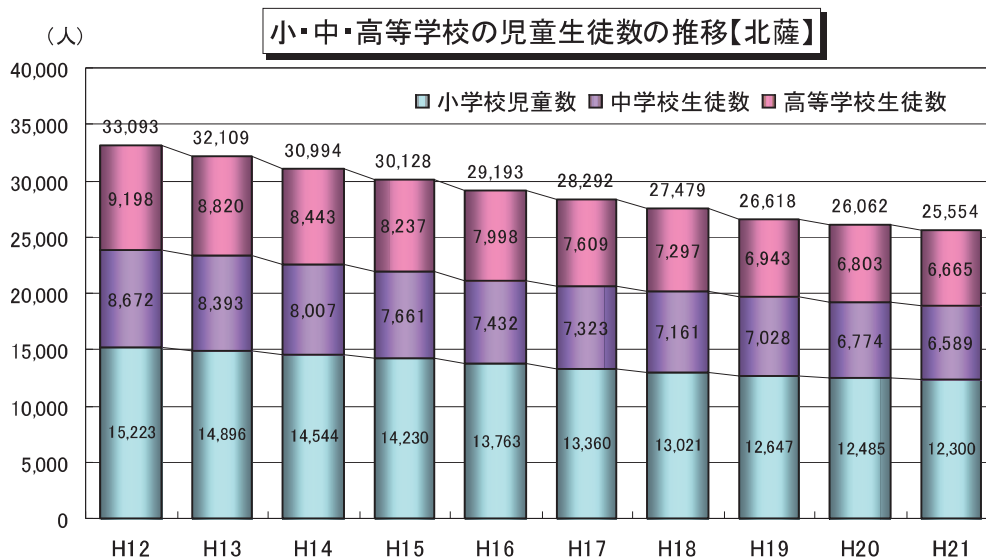
- 地区中体連、高体連等、運動部活動の取組を支援します。
- 地区及び市町体育協会競技団体の取組を支援します。

- 競技団体と、県体育協会、小中体連、高体連との連携を図った主体的な選手強化の推進に努めます。
- 高度で専門的な知識や技術、高い見識や熱い情熱を持った指導者の育成に努めるとともに、本地区のスポーツ選手が県内外の競技会等において活躍できるよう選手の育成・強化を図り、競技スポーツの振興に努めます。

学校数の推移【北薩】

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
小学校	98	98	98	98	98	98	97	97	96	96
中学校	39	38	38	38	38	38	38	38	38	38
高等学校	16	16	16	16	16	18	18	14	14	12

資料：学校基本調査

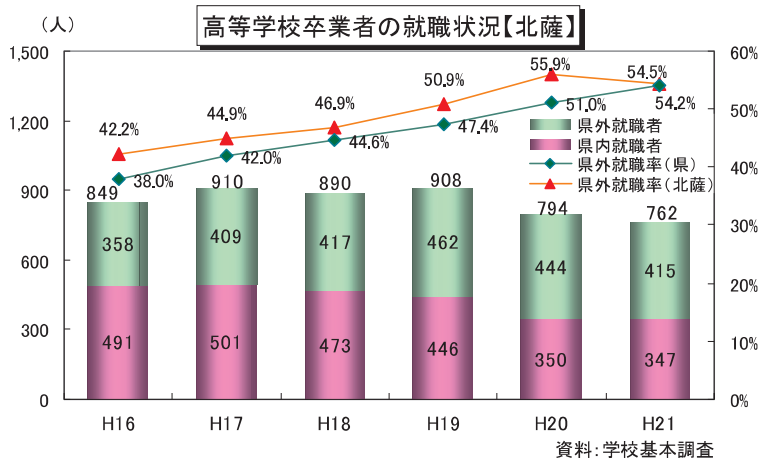


資料：学校基本調査

高等学校の進路状況の推移【北薩】

区分	卒業者数	(単位：人)							
		大学等 進学率	就職者数	県内 就職者	県外 就職者	大学等 進学率	就職率	県外就職率 (北薩)	県外就職率 (県)
平成16年	2,637	863	849	491	358	32.7%	32.2%	42.2%	38.0%
平成17年	2,531	822	910	501	409	32.5%	36.0%	44.9%	42.0%
平成18年	2,503	832	890	473	417	33.2%	35.6%	46.9%	44.6%
平成19年	2,440	838	908	446	462	34.3%	37.2%	50.9%	47.4%
平成20年	2,152	803	794	350	444	37.3%	36.9%	55.9%	51.0%
平成21年	2,151	841	762	347	415	39.1%	35.4%	54.5%	54.2%

資料：学校基本調査



- 67 出水兵児修養掟：江戸時代後期に、その頃の青少年をたくましく育てるために作られたといわれている。内容は、武士の心構えを表したものです。今の中でも人としての生きる心構えの教えとしての傑作といわれ、多くの人に親しまれている。
- 68 東郷文弥節人形浄瑠璃：文弥節は、人形浄瑠璃創始期の原形をとどめた古浄瑠璃と言われ、日本では新潟県佐渡島、石川県白山市（旧尾口村）、宮崎県都城市（旧山之口町）と東郷を含め、4県だけに残されている貴重なものだといわれている。（国指定無形民俗文化財）
- 69 キャリア教育：望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育。
- 70 食育：生きる上での基本であって、知育・徳育及び体育の基礎となるものであり、様々な体験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。
- 71 さつま町の鷹踊り：江戸時代以前の狩猟で武士の修練と領民のようすを観察する目的で行った鷹狩りの模様を踊りにしたもので、振りの大きい踊り。（県指定無形文化財）
- 72 阿久根市波留南方神社の神舞：波留集落の青年を主体とし、楽人は壮年以上の人があたる。稚児による露払（チハリ）に始まり、神降り（カンオロシ）、瓶舞（ビンメ）、弓舞（ユミマイ・ユンメ）、剣舞（ツルギマイ・ツルンメ）、田ノ神舞・将軍舞（タノカンメ・ショウグンメ）（タノカミマイ・ショウグンマイ）、鬼神舞（キジンマイ・キジンメ）からなる。日本神話の中にある天照大神の岩戸隠の際、八百万神々が岩戸の前で舞楽を行い、岩戸の外にお迎えする場面をあらわした舞。クライマックスの鬼神舞では、舞に使用される鬼神の面が笑うと言いつたされている。（県指定無形民俗文化財）
- 73 こしきアートプロジェクト：平成16年8月に薩摩川内市里町出身の平嶺林太郎氏の呼びかけで東京の芸術学生15人が甑島に集まり、島全体を展覧会場とした美術展を開催したことが始まり。社団法人日本経営協会が主催する自治体総合フェア2009特別企画「第1回活力協働まちづくり推進団体表彰」において、最高賞のグランプリに選ばれた。
- 74 健やかスポーツ100日運動：県民が主体的・継続的に週2回、年間100日はスポーツ・レクリエーション活動に親しむことを目標とし、幼児から高齢者までともに楽しめるスポーツ・レクリエーション活動を通して、県民の健康づくりや体力づくりを推進するとともに、地域のコミュニティづくりを図るため、学校や身近なスポーツ施設の活用を進める運動。